

=====

★最近目覚ましく進化している IT 技術を中小企業で活用する★

著者：(株) I&C・HosBiz センター

石川 昌平

=====

第200号を発信します。2016年09月02日(金)

.....

【タイトル】 ★最近目覚ましく進化している IT 技術を中小企業で活用する★

7回シリーズ：その4

著者：(株) I&C・HosBiz センター

石川 昌平

第4回 業務アプリケーション（1）会計ソフト（1）クラウド会計 fee

（1）フィンテックの登場

最近ビジネス業界では「FinTech（フィンテック）」という言葉が頻繁に取り上げられるようになってきました。

FinTech（フィンテック）とは金融（Finance）と技術（Technology）を組合せた造語で、IT を活用して金融、決済、財務サービスなどのイノベーションのことをいいます。特に、クラウドやスマートフォン（スマホ）といった最新の IT を活用して金融機関が従来提供してこなかったようなサービスをベンチャー企業が提供することが多くなってきています。

FinTech という言葉が日本で大きく取り上げられるようになったのは 2014 年からです。まだ2年しかたっていませんが、続々と新しいサービス機能がどんどん開発されています。黒船の再来とも言われており政府、金融機関、クレジット業者等が真剣に取り組み始めました。

米国では5－6年前から登場しています。米国の場合は「個人資産管理」の分野からスタートしているようですが、日本では「企業の会計管理」が先行しています。

フィンテックのコア技術として次の3種類があります。

このコア技術なくして FinTech は世の中に受け入れられなかったでしょう。

1) 人工知能：A I（Artificial Intelligence）

人工知能の技術的進歩は将棋や囲碁の世界で証明されています。人工ロボットの例もあります。会計の世界でいうと自動仕訳に應用されています。

2) A P I 関数：A P I（Application Program Interface）

ソフトウェアというのは、相互に呼び出し合うプログラムの集団で出来ているのですが、その呼び出し方法を API と言います。API を介して外部の複数のプログラムと連携して必要なデータの受け渡しが簡単にできるようになります。

金融機関やクレジット業者が会計ソフトの業者に A P I を公開することにより、通帳やクレジットの明細データが会計ソフトに取り込めるようになったのです。個人レベルの利活用でいうと家計簿も電子家計簿となり、いちいち記帳しなくても済むようになります。

3) ブロックチェーン技術：B C T（BlockChain Technology）

もともとは仮想通貨であるビットコイン流通での二重譲渡を防止するために開発されたものです。ブロックの連鎖によって分散型ネットワークシステム全体で唯一のブロックチェーンを生成することにより、二重譲渡が防止できるということです。

分散型のネットワークシステムは世界中に点在するパソコンにデータを置くことで、（一つの場所にデータを置かないようにして）壊すことができないネットワークを作る技術でもあります。

これらの技術によりデータを安全に保管し、流通させることが出来るようになったのです。

（2）クラウド会計ソフト freee の概要

人工知能と API 関数を使っています。ブロックチェーン技術も採用していると思われますが、利用者には直接の関係はありませんので調査していません。

1) キャッチフレーズの検証

Freee は以下のようなキャッチフレーズを使っています。

クラウド会計シェア No.1。 入力を自動化し、業務をまとめて効率化。

クラウド会計ソフト freee 経理の効率が 50 倍に。

freee なら日々の経理業務から決算までまとめて効率化。

このキャッチフレーズが本当か検証してみました。

- ①入力を自動化（金融機関の場合はインターネットバンキング経由なので可能になる）
銀行口座やクレジットカード、レジや EC サイトの明細を自動で取得して仕訳登録します。

入力にかかる手間を省け、人的ミスの発生を防げます。

例：クレジットカードでタクシー料金を支払った。

カードの明細情報；日付、金額、取引内容（タクシー）

このデータを自動で会計データに変換：勘定科目 旅費交通費、税区分 8%

データを受け取るタイミングが即日か、1ヶ月まとめてかについては調査の必要があります。

- ②まとめて効率化（著者注：「業務の統合化で効率化」ということでしょうか）

帳簿や決算書の作成はもちろんのこと請求書の作成から売掛金や買掛金の管理、資金繰りの分析まで freee 1 つで完結します。

入力・管理・レポート作成の間の二度手間やタイムラグをなくし、リアルタイムな意思決定をできるようになります。（著者注：この機能は従来ソフトにもあります）

- ③経理の効率が 50 倍になる

何故 50 倍になるのかの根拠が不明ですが、ある IT 業界と税理士業界に詳しい某氏によると効率アップの 1 要因は「シングルインプット」。つまり一つの入力データをデータベース的に使い回しすることにあるといっています。

もう一つの要因は手入力データが少なくなることにあります。

（著者注：現在の業務会計ソフトでも当初からデータベースが出来るようにコード体系を設計すれば実現出来ますし、多くの成功事例を持っていますので、ご相談ください。）

- ④請求書・見積書

請求書や見積書・納品書の作成が可能です。

作成したデータは自動的に売掛金として登録されます。

- ⑤売掛・買掛管理

取引先別の売掛・買掛金の管理も freee で完結します。

期日を過ぎた取引があればお知らせします。

- ⑥消込

入出金データと売掛金買掛金のマッチングは freee が自動で推測します。

あとは確認するだけです。

- ⑦各種レポート

資金繰りレポート・売掛買掛レポートなど各種レポートを自動作成します。
リアルタイムに確認できます。

⑨会計帳簿

会社法に準拠した決算書や確定申告書が作成できます。
損益計算書・貸借対照表・仕訳帳などにも対応しています。

⑩実績

60万本以上出荷しています。

2) 中身の検証

この1年間でサービス内容が充実してきました。

①領収書

スマホのアプリがあるので、写真を撮ると「ファイルボックス」のところに記録
されます。

その後画像解析を行って日付、金額、取引内容を取り込みます。

解析の確率は100%ではないので、かならず目視で照合確認することが必要です。

②見積書、請求書、納品書の作成

A4 1頁、6種類のテンプレートがあります。名称、数量、単価は手入力です。
売掛金明細も同時に作成します。振込手数料が引かれている場合は、支払い手数料
として自動的に仕訳します。

ただし、請求書のデータはすべて手入力でマスター登録の機能はありません。

その不便を補うために外部の請求書作成ソフトのデータを取り込む機能を持っ
ています。(現在、連携ソフトは2社から提供されています。)

③買掛金

領収書と同じように業者の請求書をスマホで撮って記録します。

④決算書、資金繰り表

決算書はワンクリックで簡単に作成できます。また、月次の資金繰り表も予定を
含めて作成できます。

次回、第5回は「業務アプリケーション(2) 会計ソフト(2)」を解説します。

ご質問、ご意見のある方は、以下のメールアドレスをお願いします。

happy@keiei-tokkunshi.jp

***** セミナーのご案内 *****

◆会計事務所向け：

「会計事務所経営 セミナー」：第3回以降のお知らせ

- ・場所（3,4,5回）東京メトロ 日比谷線/茅場町/5番出口 中団連（全国中小企業会館 4F）
- ・参加費 1,000 円（マイバッグ-手引書、教材付）

ご案内は、後日掲載します。11月、12月の開催日が変更になっています。

- 1) 第3回：2016年10月07日（金） 14：30～17：00 中団連会議室（茅場町）
- 2) 第4回：2016年11月10日（木） 14：30～17：00 中団連会議室（茅場町）
- 3) 第5回：2016年12月06日（火） 14：30～17：00 中団連会議室（茅場町）

.....

「かかりつけ医インターン養成講座 説明会」のお知らせ（参加 無料）

この養成講座は、全6回コースで後述の要領で開催いたします。

◆事前申込・予約制◆個別相談もOK◆

以下の日程で説明会を開催しますので、ご関心のある方はぜひ参加ください。

開催場所 JR山手線、地下鉄南北線 駒込駅 （株）I&C・HosBiz センター

- 1) 第5回：2016年09月02日（金） 18：30～20：00

■「かかりつけ医インターン養成講座」の開催ご案内（全6回コース）

- ・開催場所 一般社団法人 日本中小企業団体連盟 会議室
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-8-4 全国中小企業会館 5階
東京メトロ 茅場町駅 日比谷線・東西線 5番出口 徒歩 1分

第1回	09/27 (火)	イノベーションの時代：戦略的経営計画の作り方
第2回	10/11 (火)	ビジネスストック（経営の健康診断）の活用方法
第3回	10/25 (火)	制度会計とマネジメント会計（部門別管理会計）
第4回	11/08 (火)	中小企業金融政策と金融機関との上手な付き合い方
第5回	11/22 (火)	食プロ・6次産業の取り組み方
第6回	12/13 (火)	わが社の経営計画と経験交流

- 【1】「かかりつけ医インターン」へは、実力に応じて「ビジネスドック＝企業の健康診断」を委託いたします。
診断依頼先への現地調査を兼ねたプレゼンには、“かかりつけ医”に同行して、経験を積むことができます。
- 【2】診断先から、経営支援依頼があった場合は、“かかりつけ医”と共に経営支援をインターンシップでノウハウを体得します。
- 【3】経営支援先との信頼関係が出来たら、担当「かかりつけ医インターン」として、“かかりつけ医”に代って、PDCAをすすめます。“かかりつけ医”は、必要時に経営支援をサポートします。
- 【4】経営支援先での実績が評価された時は、担当“かかりつけ医”として推進して、自分の顧問先となります。（原契約は Hosbiz で、経営支援料金や業務委託料は、担当する専門分野と仕切りルールによって決めます）
- 【5】プロコンサルタントとして自立を支援！
顧問先が増えてくれば、収入もあがり安定してきますので、自前で独立開業するのに比べて、確実にプロ経営コンサルタントになれると共に、他の専門家やビジネスパートナーとの交流、経営支援ツール、ライブラリーやクラウドネットワークの活用により、幅広く持続的な活動ができ、生涯現役も実現できます。

[illegible]

1) 第52回 9月24日(土) 13:00~18:00
2) 第53回 10月22日(土) 13:00~18:00
3) 第54回 11月26日(土) 13:00~18:00

東京メトロ南北線駒込駅 1 番出口 徒歩6分

* * * * *

1) 10月14日(金)、15日(土) 10:00~18:30

東京メトロ南北線駒込駅 1 番出口 徒歩6分

* * * * *

1) 11月11日(金) 10:00~18:30

東京メトロ南北線駒込駅 1 番出口 徒歩6 分

=====

◆◆はやぶさ 第200号・感謝キャンペーン◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

お蔭さまでこの年末で4周年を迎えます。皆様のご愛読に感謝いたしております。

マイナンバー元年 ★手引書・無料プレゼントのご案内★

本年1月1日より、マイナンバー制度の運用が始まりました。

皆様、現場に展開しておりますか？

ご愛読者の皆様への感謝としまして、「無料」で進呈します。

◆この年末から源泉徴収票への利活用が始まります。

繁忙期に入る前に準備をいたしましょう。

手順通りやれば誰にでもできる

マイナンバー制度導入運用手引書 定価：1000円＊無料進呈

<目次>

- 1) 推進体制と責任者を決める
- 2) 従業員に説明するとともに、協力を依頼する
- 3) 税理士や社会保険労務士等への業務委託
- 4) 個人事業主取引先のリストアップとマイナンバー提供依頼
- 5) 安全管理措置の実施・・・・・・始業／終業点検の実行
- 6) 保管管理の実施や廃棄等のルール化
- 7) 2016年に実施する課題の準備をする（現法令の場合）
- 8) 付表 MyNa 問診シート

＊お申込みは下記のメールアドレス宛に、

「お名前、社名、所属部署、〒・住所（必須）、URL（ある場合）」を
ご記入の上、メールしてください。

happy@keiei-tokkunshi.jp

◆クロネコDM便でお送りします◆

=====

◆経営相談は

http://hosbiz.net/pdf/20150527_02.pdf

を開き、「問診シート」をプリントして、必要事項をご記入のうえ、FAX ください。

FAX : 03-5832-9404

=====

一般社団法人 経営特訓士協会（略称：KTGA）

URL <http://keiei-tokkunshi.jp/?mail>

アドレス：happy@keiei-tokkunshi.jp

発行責任者： 理事長 平本 靖夫、 編集長：石川 昌平

配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

<https://1lejend.com/stepmail/delf.php?no=300444>